

平成 28 年度 支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム 開催要綱

1. 趣旨

新しい地域支援事業を契機に、高齢者のニーズに応えるとともに住民同士のいきいきとしたつながりのある地域をつくるには、住民主体の生活支援をいかに広げていくかが重要なカギになります。

生活支援コーディネーターの配置や協議体の設置により、住民や福祉関係者等の間で地域課題の共有、必要となる活動やサービスの検討が始まっていますが、新たな活動等の本格的な創出・拡充には至っていない地域も見られます。その一因には、具体的な活動・サービスの立ち上げ方や運営、団体のマネジメントのノウハウ等が共有できていない状況があるのではないのでしょうか。

そこで本フォーラムでは、住民主体の生活支援の意義や特徴を改めて確認するとともに、豊富な知識・経験を有する各サービスの全国団体のサポートにより、活動・サービスの立ち上げや運営の支援に役立つ情報、地域支援事業の活用などを学びます。

2. 主 催 社会福祉法人 全国社会福祉協議会
3. 共 催 住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会
一般社団法人 全国老人給食協力会
特定非営利活動法人 全国移動サービスネットワーク
4. 期 日 平成 28 年 10 月 20 日 (木)
5. 対 象 ○生活支援コーディネーター (地域支え合い推進員)
○行政・自治体関係者
○助け合い活動、生活支援サービスを行う NPO、ボランティア団体、住民参加による生活支援サービスや助け合い活動を推進している関係団体
○生協、農協、社会福祉協議会等関係者 等
6. 会 場 全国社会福祉協議会 灘尾ホール、5 階会議室
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル LB 階
7. 定 員 300 名 ※定員になり次第、締め切りとさせていただきます。
8. 参 加 費 <20 日 (生活支援フォーラム) のみ参加の場合>
3,000 円
<生活支援コーディネーター研究協議会(19 日)から引き続き参加の場合>
2,000 円 ※19 日と併せて参加費 計 5,000 円になります。
9. 申込期限 平成 28 年 10 月 3 日 (月) [定員になり次第、締切とさせていただきます]

10. プログラム

9:30	開会
9:40～11:00 (80分)	<p>【オープニングセッション】 「住民主体の生活支援を広げるために何が必要か」</p> <p>新しい地域支援事業を契機に、多様な生活支援の拡充が期待されていますが、ガイドラインに示された「サービス B」の広がりはまだ少なく、住民主体の生活支援の創出には、今後、時間をかけた粘り強い取り組みが求められます。オープニングセッションでは、住民主体の生活支援の必要性を再確認すると同時に、これらを広げていくために地域支援事業をいかに活用するか、また、行政や生活支援コーディネーター、協議体にはどのような視点や役割が求められるかについて共有します。</p> <p>登壇者/住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事 成瀬 和子氏 全国老人給食協力会 専務理事 平野 覚治氏 全国移動サービスネットワーク 副理事長 横山 和廣氏 コーディネーター/全国社会福祉協議会 地域福祉部</p>
11:00～11:20	休憩・移動
11:20～15:00 ※途中、昼食休憩有	<p>【分科会】 「住民主体の生活支援をはじめよう！ ～立ち上げから継続的な運営まで」</p> <p>「地域のニーズが見えてきて、活動を始めたけれど本当に住民の力ができる？」 「既に実践している団体の経験やノウハウを聞きたい！」 こうした不安や疑問に応え、具体的な立ち上げ、運営に役立つ情報、今後の活動のヒント、先輩団体の実践例等を学びます。</p> <p>第1分科会 お互い様を地域の仕組みにする（訪問型サービス）</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>日常生活のちょっとした手伝いから在宅での看取りの支援まで。住民同士のお互い様をベースにした訪問型サービスの基本的な仕組みや仲間集めのヒント、運営ノウハウなどを実践事例を交えながら紹介します。</p> </div> <p>コーディネーター/住民参加型在宅福祉サービス団体全国連絡会 副代表幹事 熊谷 美和子氏 コメンテーター/代表幹事 矢澤 久子氏 実践報告/調整中</p>

第2分科会 食を通して地域のつながりをつくる（食事サービス）

地域には、「食べること」に関するニーズを持つ住民が多くいます。「食」は、栄養補給だけでなく、美味しいものを食べる楽しみや人間関係、地域文化に関わる多面的な営みであり、子どもから障害者、高齢者まで多くの方が担い手として参加しやすい活動でもあります。分科会では、近年とくに広がりを見せている会食タイプの活動なども紹介し、食事サービスの立ち上げや運営のポイントを学びます。

コーディネーター/全国老人給食協力会

専務理事 平野 覚治氏

実践報告/

NPO法人ゆめみ〜る 副理事長 山田 正幸氏

北海道・登別市内の特に高齢化がすすむ地域の町内会有志で立ち上げたNPO。閉店したコンビニを改築した拠点で、地域食堂を運営し配食サービスを行っているほか、「朝市」やサロンも開催し、地域に住む多世代の人々が関わる共生型の地域拠点となっています。

NPO明舞ひまわり 代表 入江 一恵氏

昭和30年代から大規模開発された兵庫・明舞団地の団地再生モデル事業をきっかけに設立。「ふれあいお食事処」「配食サービスと見守り」のほか、食と健康の情報発信基地として地域団体や行政と協働した団地活性化イベントを実施しています。

第3分科会 移動のサポートで広がる社会参加（移動・外出支援）

高齢者の通院や買い物の移動手段が不足している地域が増えています。地域でいきいきと暮らし続けるために、移動・外出支援はなくてはならない活動です。

一方で、車両や担い手の確保、法令への対応などが立ち上げのハードルになっています。

分科会では、実践事例から移動・外出支援を学ぶとともに、中間支援団体から直接アドバイスを受けることができます。

コーディネーター/全国移動サービスネットワーク

副理事長 河崎 民子氏

実践報告/社会福祉法人 一廣会 金井原苑 苑長 依田 明子氏

小地域ネットワークをテーマとした川崎市麻生区の協働事業から「人とサロンをつなぐ移送推進協議会」が発足。更に地域のサロンに送迎を行う「あさお運転ボランティアCAP」が生まれました。金井原苑は協議会事務局から車両提供、運転者研修も担っています。

11. 申込方法 ○別添の参加申込書により、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店宛にお申し込みください。折り返し同社より参加券および参加費の振込依頼書等をお届けいたします。

○参加費等のお支払いは、期日までにお済ませください。

○当日は、参加券をご持参ください。

12. 個人情報の取り扱い

本フォーラムにつきましては、個人情報保護における取扱契約を「名鉄観光サービス(株)新霞が関支店」と交わしたうえで、同社に上記の業務を委託しております。「参加申込書」に記載された個人情報は、運営管理の目的にのみ利用させていただきます。なお、本フォーラムの資料に参加者の氏名・所属・役職を掲載いたします。

<フォーラム内容の問い合わせ先>

全国社会福祉協議会地域福祉部（担当：水谷、金谷内）

〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル

TEL. 03-3581-4655 FAX. 03-3581-7858

※参加等の申込・参加券の送付・参加費の支払い等については、「参加申込書」をご覧ください。

会場のご案内

全国社会福祉協議会・灘尾ホール

〒100-8980 東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル LB 階



・地下鉄 銀座線「虎ノ門駅」5番出口より徒歩5分

・地下鉄 千代田線／丸の内線／日比谷線「霞ヶ関駅」A13番出口より徒歩8分

・地下鉄 千代田線／丸の内線「国会議事堂前駅」3番出口より徒歩5分

平成 28 年度 生活支援コーディネーター研究協議会 (10/19 開催)
平成 28 年度 支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム (10/20 開催)

参加・昼食・宿泊のご案内

参加費(参加者1名につき)

生活支援コーディネーター研究協議会<10/19開催>	参加費 3,000 円	
支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム<10/20開催>	生活支援フォーラムのみ参加の場合 (10/20のみご参加の場合)	参加費 3,000 円
	生活支援コーディネーター研究協議会(10/19) からご参加の場合	参加費 2,000 円

※19日と20日両日参加される場合の参加費は合計 5,000 円となります。

宿泊のご案内 宿泊手配をご希望の方には下記ホテルをご手配させていただきます。
ご希望の場合は別紙申込書にてお申込みください

宿泊施設	申込記号	部屋タイプ	宿泊料金 (1泊あたり)	会場より<最寄駅>
新橋愛宕山東急 REI ホテル	A	シングル (1室1名利用)	13,900 円	会場より徒歩約 12 分 地下鉄銀座線「虎ノ門」駅徒歩約 7 分
マロウドイン赤坂	B	シングル (1室1名利用)	9,500 円	会場より地下鉄利用にて約 20 分 地下鉄千代田線「赤坂」駅徒歩約 5 分

※料金は朝食付、税金・サービス料を含むお一人様 1泊あたりの金額です。

※部屋数に限りがございますので先着順での受付とさせていただきます。満室となりました時点で宿泊申込の受付を終了とさせていただきます。ご了承ください。

昼食(お弁当)手配のご案内 (10/19 および 10/20)

・各日の昼食手配を承ります。手配をご希望の方は申込書にてお申込みください。

昼食代(お弁当・お茶付)……1,250 円(税込)

参加申込方法

- ・申込書をご記入の上、名鉄観光サービス(株)新霞が関支店までFAXにてお申込みください。
- ・申込締切日以降開催 1 週間前に参加券及び振込依頼書を郵送いたしますので到着後ご送金をお願いします。
- ・振込依頼書の控えを領収書とさせていただきますのでご了承ください。
- ・生活支援コーディネーター研究協議会にご参加の方は、「事前アンケート」*もあわせてお送りください。

※FAX もしくはメール送信(z-chiiki@shakyo.or.jp)

申込締切日 平成 28 年 10 月 3 日(月) ※先着順での受付とさせていただきます(各定員 300 名)。

申込後の変更・取消について

変更・取消が生じた場合は申込時の申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上、FAX にて名鉄観光サービス新霞が関支店までご送信ください。

送金後の参加取消の場合参加費の返金はいたしません。終了後資料をお送りします。

宿泊、昼食のお取消につきましては、取消日により下記の取消料を申し受けます。ご了承ください。

取消日	14-8 日前	7-2 日前	前日	当日 10:00 まで	当日 10:00 以降 および無連絡
宿泊	20%	30%	40%	50%	100%
昼食	無料			100%	

※受付時間外の変更、取消のご連絡は、翌営業日の受付扱いとなります。ご了承ください。

※ご返金の際は、上記取消料および金融機関所定の振込手数料を差引きした金額をご送金いたします。

お申込・お問合せ先

名鉄観光サービス株式会社 新霞が関支店 担当 波多野、山辺
〒100-0013 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビルLB階
電話 03-3595-1121 FAX 03-3595-1119
受付時間 平日 9:30~17:30(土日祝日休業)

平成 28 年度 生活支援コーディネーター研究協議会 (10/19 開催)
 平成 28 年度 支え合いをひろげる住民主体の生活支援フォーラム (10/20 開催)

参加・昼食・宿泊申込書

- ・本申込書にご記入の上、FAXにて **10月3日(月)** までにお申込みください。
- ・定員 300 名(先着順での受付とさせていただきます)
- ・複数名でお申込みの場合は、本申込書をコピーの上お申込みください。

申込日	月	日	新規申込	内容変更	参加取消
-----	---	---	------	------	------

【所属組織・参加者について】

都道府県 指定都市		所属団体名			
所属する団体の 所在地 参加券の送付先 となります	郵便番号	※郵便番号・住所は正確にご記入ください			
	住所				
	電話	FAX	申込担当者	様	
参加者氏名	フリガナ			役職名	
	氏名				

【参加・昼食申込】

10/19	生活支援コーディネーター 研究協議会	参加申込 (ご希望に○印)	参加します	参加しません
		昼食申込 (ご希望に○印)	申込します	申込しません
10/20	支え合いをひろげる 住民主体の生活支援フォーラム	参加申込 (ご希望に○印)	参加します	参加しません
		希望分科会	第 分科会	第 分科会
		昼食申込 (ご希望に○印)	申込します	申込しません

【宿泊申込】 宿泊のお申込みをされる方のみご記入ください

申込記号 (ご希望に○印)	宿泊日(泊数)
A	10月 日より()泊

申込状況により上記ホテルが満室になった場合は他の近隣ホテルをご案内することがございます。予めご了承ください。

【費用計算欄】 申込内容に基づく費用の計算をお願いします。

①参加費	②昼食代	③宿泊代	費用合計額(①～③合計)
円	1,250 円×()日分	1 泊()円×()泊	円

- ・19 日と 20 日の両日参加の場合参加費は 2 日間で 5,000 円となります。
- ・申込締切日以降、参加券および振込依頼書をご送付します。到着後費用合計額をご送金ください。

名鉄観光サービス(株) 新霞が関支店 担当 波多野・山辺
【申込先】 FAX 03-3595-1119 **送信状は不要です**
 電話 03-3595-1121 受付時間 平日 9:30～17:30(土日祝日休業)

- ・変更、取消が生じた場合は本申込書を変更箇所がわかるよう訂正の上再度 FAX 送信をお願いします。
- ・受付時間外の変更、取消のご連絡は翌営業日の受付扱いとさせていただきます。ご了承ください。